

— 第2期スポーツ基本計画時代の「スポーツの価値」向上戦略

スポーツ×文化×観光 =これからの地域・経済の活性化方策

～支援コミュニティ・指定管理者等との連携による地方創生の実践～

□新しいまちづくり手法としてのスポーツ都市戦略—成長戦略としての展開方策

■「スポーツのちから」—社会イノベーションを促進する支援コミュニティの形成・活用

□〔新潟・三条市〕新タイプの指定管理者(株丸富)とスタジアム起点の活動、地域資源活用

■〔宮城・登米市〕マラソン+〔風景×グルメ×酒〕で新スポーツツーリズム
〔東北風土マラソン&フェスティバル〕の成果と成長戦略

【講師陣】

原田 宗彦 氏 / 早稲田大学スポーツ科学学術院教授

松橋 崇史 氏 / 拓殖大学商学部准教授

柴山 昌彦 氏 / (株)丸富社長(新潟・三条市)

竹川 隆司 氏 / (一社)東北風土マラソン&フェスティバル代表理事
(宮城・登米市)

開催日時・会場

2017年5月30日(火)

10:00~16:50

剛堂会館・会議室

(東京・千代田区)

【参加要領】

■会 場：剛堂会館・会議室
東京都千代田区紀尾井町3-27
(案内図は申込後送付)

■参加費(1名分)

	1名参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	25,000円
一 般	35,000円	35,000円

メディアCDには原田氏(早稲田大学)のご講演は収録されません。
参加費の払い戻しは致しませんので、申込後にご都合が悪く欠席される
場合には代理の方の出席かメディア参加とさせていただきます。

■支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い

みずほ銀行麹町支店 普通1159880
三井住友銀行麹町支店 普通7411658
三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767
郵便振替：00110-8-81660 口座名：(株)地域科学研究会

■申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
(FAX・郵送・メール等)

請求書書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします。書類が必要な
方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な
方には当日受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ

あすの街と村を考える
地域科学研究会

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082
http://chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書】 FAX：03-3234-4993 Email：machi@chiikikagaku-k.co.jp 年 月 日

■研修会『スポーツ×文化×観光=これからの地域・経済の活性化方策』への参加 □当日参加 □メディア参加

勤務先

連絡担当者

所在地〒

TEL

参加者氏名

所属部課役職名

FAX

Email

〈通信欄〉○を付けて下さい

支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)
必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

請求書宛先名：_____

時	講義内容
10:00 〃 11:40	<p>成長戦略としてのスポーツツーリズム ～これからのまちづくり手法としてのスポーツ都市戦略～</p> <p style="text-align: right;">早稲田大学スポーツ科学学術院教授 原田 宗彦 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツツーリズムの発展 2. スポーツコミッションの役割 3. 需要ドライバー（喚起装置）としてのプロスポーツとスポーツイベント 4. 「スポーツ×文化×観光」による新しい展開 5. 2020年東京五輪のレガシーと地方創生 <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <p>原田宗彦氏プロフィール 筑波大学大学院修了後、ペンシルバニア州立大学大学院博士課程修了 (PhD)、フルブライト上級研究員を経て現職。一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構代表理事、日本スポーツマネジメント学会会長、Jリーグ理事のほか、2026年札幌冬季オリンピック・パラリンピック開催概要計画検討委員会委員長や観光庁スノーリゾート地域活性化検討委員会委員長、経済産業省ヘルスツーリズム認証制度検討委員会座長などを務める。主な著書に「スポーツ都市戦略」(学芸出版社)等。</p>
12:30 〃 13:50	<p>「地域のちから」を引き出す「スポーツのちから」</p> <p style="text-align: right;">拓殖大学商学部 准教授 松橋 崇史 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツで元気になる「地域」 2. 支援コミュニティの形成 3. ソーシャルキャピタルを高める 4. 社会イノベーションを促すスポーツ <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <p>松橋崇史氏プロフィール 慶應義塾大学総合政策学部卒業、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。東京工科大学メディア学部助教を経て、2016年より現職。他に慶應義塾大学SFC研究所上席所員、一般社団法人スポーツによる地方創生推進会議代表理事。専門は、スポーツマネジメント、スポーツ政策。主な著書に「スポーツのちから」(共著、慶應義塾大学出版会)</p>
14:00 〃 15:20	<p>〔新潟・三条市〕指定管理者が先導する地域づくり ～スタジアムを起点とした活動の展開～</p> <p style="text-align: right;">(株)丸富社長(三条市) 柴山 昌彦 氏 拓殖大学商学部 准教授 松橋 崇史 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボールパーク構想 2. プロ野球の誘致と地域からの支援の獲得 3. 地域からの支援の拡大と自主事業の展開 4. 大学野球サマーリーグの誘致と地域資源の活用 <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <p>(株)丸富について 丸富は、農業用機械の販売を主業とする地元企業で、1992年に緑化事業、1995年にスポーツ施設の維持管理業務を開始。現在は、新潟県三条市の三条パール金属スタジアムを中心とした三条市総合運動公園や長岡市の悠久山球場の指定管理を行う他、プロ野球ファーム戦やスポーツ教室など活発な自主事業を展開している。2013年より、拓殖大学商学部准教授の松橋氏をプロジェクトメンバーとしたSCM(Sports Community Management)と「スタジアムを中心としたまちづくり」について共同研究を進めている。また、丸富の柴山氏は、三条市下田地区の活性化を先導する、NPO法人ソーシャルファームさんじょうの代表も務める。</p>
15:30 〃 16:50	<p>〔宮城・登米市〕「マラソン」と「フェスティバル」融合による新しいスポーツツーリズムのかたち ～「東北風土マラソン&フェスティバル」の事例より～</p> <p style="text-align: right;">(一社)東北風土マラソン&フェスティバル 代表理事 竹川 隆司 氏</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「東北風土マラソン&フェスティバル」とは 2. 海外事例「メドックマラソン」(フランス)から学べること 3. 「東北風土マラソン&フェスティバル」の成果—成長とその戦略 4. 新しいスポーツツーリズムのかたちを目指して <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <p>東北風土マラソン&フェスティバルについて 「東北風土マラソン」は、東北の田園風景の中を、東北各地の名物グルメを食べ、日本酒の仕込み水を飲みながら走るファンラン大会。フランス・メドックマラソンの企画協力を得て、「登米フードフェスティバル」、「東北日本酒フェスティバル」、「東北風土ツーリズム」も同時開催される。2015年「観光王国みやぎおもてなし大賞・奨励賞」、「2015年度グッドデザイン賞」、2016年7月にスポーツ振興賞「観光庁長官賞」受賞他。</p>